

令和元年度医理工農連携プログラム（理工医学のための生物材料学）

講義日	担当教員	講義内容
6月28日	古清 恵介	環状オリゴ糖を用いたエゴマ油の粉末化と生物学的利用能
7月4日	菅野 貴浩	最近の口腔顎顔面外科における生体材料： 第3の歯 歯科インプラント
7月8日	笹井 亮	骨や歯を修復するセラミックバイオマテリアル
7月9日	笹井 亮	結晶化ガラスA-W (Glass-Ceramic A-W)
7月16日	永井 秀政	脳神経外科での生物材料学
7月22日	谷戸 正樹	緑内障の新規診断・治療法開発
7月25日	竹下 治男	法医犯罪鑑識科学への応用と課題
7月25日	浦野 健	蛍光タンパク質の基礎と応用
7月25日	菅野 貴浩	最近の口腔顎顔面外科手術における生体吸収性プレートの応用
10月1日	藤田 恭久	ナノ材料の医生物応用①
10月1日	藤田 恭久	ナノ材料の医生物応用②
10月9日	森田 栄伸	食物アレルギー診断のための抗原解析の現状
11月13日	内尾 祐司	精密骨加工装置の開発と臨床応用
11月27日	内尾 祐司	軟骨再生のための生物材料学
12月11日	内尾 祐司	軟骨再生のための生物材料学